近畿地方

名前

問1　近畿地方の農業に関する統計において、ある果実の2022年の全国収穫量は合計9万6600トンであり、そのうち単独で6万4400トンを生産している県があります。全国の3分の2以上という圧倒的なシェアを誇るこの県はどこですか。（2025年 長野県公立入試 類似）

1. 三重県
2. 奈良県
3. 兵庫県
4. 和歌山県

問2　日本の観光産業に関する記述として、京都府の特徴を説明したものを選びなさい。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. アジア近隣諸国からの格安航空会社（LCC）利用客が、安価な日用品の大量購入を目的に訪れる。
2. 自然景観の保護を優先するため、外国人の宿泊施設利用を厳しく制限している。
3. 伝統文化への関心が高いアメリカ合衆国など、欧米からの宿泊客が他県より多い傾向にある。
4. 自動車産業の拠点が集積しているため、欧米からのビジネス目的の宿泊客が過半数を占める。

問3　都道府県別の農業産出額の内訳を示した資料において、米や野菜、畜産などの割合に比べて「果実」が占める割合が約6割以上と圧倒的に高く、果樹栽培に特化した構造を持つ都道府県として正しいものはどれですか。（2020年 兵庫県公立入試 類似）

1. 新潟県
2. 愛知県
3. 和歌山県
4. 北海道

問4　奈良市の気候を統計資料で確認した際、他の地域と比較して顕著に見られる特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 静岡県公立入試 類似）

1. 年間降水量が比較的少なく、冬の気温が氷点下近くまで下がるなど、夏と冬の気温差が激しい。
2. 冬の降水量が夏の降水量を上回り、北西からの季節風によって長期間の降雪が見られる。
3. 一年を通じて気温の変化が小さく、降水量は梅雨や台風の時期にのみ集中している。
4. 年間降水量が2,500mmを超え、夏は南東からの季節風によって非常に蒸し暑い日が続く。

問5　近畿地方の各府県の統計をまとめた資料において、大阪湾の北西部に位置する兵庫県の県庁所在地として示されている都市はどこですか。（2015年 長野県公立入試 類似）

1. 奈良市
2. 神戸市
3. 京都市
4. 大阪市

問6　近畿地方の農業に関する統計において、ある府県の果実産出額が六百七億円に達し、他の府県と比較して突出した数値を示している資料があります。この府県は高い林野率と長い海岸線を併せ持っていますが、ここで温暖な気候と傾斜地を活かして大規模に栽培されている果実を選びなさい。（2016年 愛知県公立入試 類似）

1. さくらんぼ
2. みかん
3. ぶどう
4. りんご

問7　近畿地方の各府県の地理的特徴をまとめた説明において、海に面していない「内陸県」に該当する県の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 滋賀県と奈良県
2. 奈良県と和歌山県
3. 滋賀県と三重県
4. 奈良県と京都府

問8　兵庫県の中央部を東西に走る中国山地などの山々は、県内の気候や生活に大きな影響を与えています。南北の断面において山地や盆地が存在することでもたらされる状況について述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 兵庫県公立入試 類似）

1. 中央部の山地が季節風を遮る壁となるため、日本海側と瀬戸内海側では降水量や気候の特色が大きく異なる。
2. 山地が険しいため内陸部には人が住める場所がなく、すべての都市や産業は沿岸部の平野のみに集中している。
3. 山地が非常に低いため、瀬戸内海側の温暖な気候が日本海側まで直接届き、県内全域が常夏のような気候になる。
4. 南北を貫く大規模な盆地が中央部にあるため、季節風が吹き抜け、県内全域で冬の降雪量が一定である。

問9　大阪や京都などの大消費地に近い地域で行われる「近郊農業」において、生産者が得られる最大の利点として最も適切な説明はどれですか。（2017年 群馬県公立入試 類似）

1. 広い土地を利用して、大型機械による効率的な大規模生産ができること
2. 都市部から離れた安価な土地を利用して、輸送費を極限まで抑えること
3. 海外輸出を主な目的として、保存期間の長い穀物類を生産すること
4. 収穫したばかりの野菜を新鮮なうちに市場へ出荷できること

問10　近畿地方の各府県から大阪府および京都府への通勤・通学者数を示した統計において、京都府の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 福島県公立入試 類似）

1. 府内での移動が中心であるが、大阪府へ通勤・通学する人も約19万人にのぼるなど、隣接する大都市圏とも密接な関係にある。
2. 県外へ通勤・通学する人の割合が全国で最も高く、そのほとんどが和歌山県内の工業地帯へ向かっている。
3. 県内全域が大阪市の完全なベッドタウンとなっており、府内での就業・就学者数よりも大阪府への流出者数の方が上回っている。
4. 地理的に大阪府から距離があるため、県外への通勤・通学者のほとんどは三重県や愛知県などの東海地方へ向かっている。

問11　歴史的な景観を重視する地区において、地上にある電柱を撤去し、電線を地下に埋める取り組みが行われる主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2015年 長野県公立入試 類似）

1. 大型の緊急車両が通行できるように、道路の幅員を大幅に広げるため
2. 街灯の数を減らすことで、夜間の電力消費を抑え、環境負荷を低減するため
3. 伝統的な建築物と調和した美しい景観を保全し、観光資源としての価値を高めるため
4. 歴史的建造物を取り壊し、跡地に近代的なオフィスビルを建設しやすくするため

問12　兵庫県たつの市周辺の約50年間の変化について、昭和48年と令和2年の1:25,000地形図を比較・分析した際、北西部に高速道路のインターチェンジが新設され、それに伴い周辺の土地利用が大きく変化していることが確認できます。このような交通網の整備が地域社会にもたらす一般的な影響として、最も適切なものはどれですか。（2023年 千葉県公立入試 類似）

1. 高速道路の開通によって鉄道の利用価値が完全になくなるため、既存の駅や線路はすべて廃止され、農地に転換される。
2. 高速道路へのアクセスが向上することで、広域的な移動や物流が容易になり、周辺に住宅地や工場などの開発が進む。
3. 公共施設の利便性を確保するため、市役所や郵便局、小学校などのすべての施設がインターチェンジの敷地内に移転・集約される。
4. 自動車利用者の騒音を避けるため、インターチェンジ周辺の住宅地はすべて撤去され、広大な森林へと復元される。

問13　近畿地方の西側に位置する県のうち、北は日本海、南は瀬戸内海という、性質の異なる二つの海に広く面している県はどこか、名称を答えなさい。（2017年 愛媛県公立入試 類似）

1. 大阪府
2. 兵庫県
3. 奈良県
4. 京都府

答え合わせ・解説

問1	答え 4 和歌山県	和歌山県は日本最大の梅の産地として知られています。統計データによると、全国の収穫量の約67パーセント（約3分の2）を和歌山県が占めており、これは他の都道府県を大きく引き離す生産量です。温暖な気候や水はけの良い傾斜地が梅の栽培に適しているため、古くから大規模な生産が行われてきました。
問2	答え 3 伝統文化への関心が高いアメリカ合衆国など、欧米からの宿泊客が他県より多い傾向にある。	2015年のデータにおいて、京都府は中国からの宿泊客数に次いでアメリカ合衆国からの宿泊客数が多いことが示されています。これは、京都が持つ「伝統的な日本」というブランドイメージが欧米諸国で強く支持されているためです。ビジネス客が中心の地域や、買い物客が中心の地域とは異なる、独自の観光客層（文化観光）を形成している点が地理的な特徴として挙げられます。
問3	答え 3 和歌山県	和歌山県は、みかんや梅などの生産が全国トップクラスであり、農業産出額の半分以上を果実が占めているのが最大の特徴です。選択肢にある新潟県は「米」、愛知県は「野菜」や「花」、北海道は「畜産」や「畑作」の割合がそれぞれ高く、都道府県ごとの気候や地形条件によって生産される品目の構成が大きく異なります。
問4	答え 1 年間降水量が比較的少なく、冬の気温が氷点下近くまで下がるなど、夏と冬の気温差が激しい。	奈良市の雨温図などの統計資料では、海の影響を受けにくい内陸部特有のグラフが示されます。具体的には、太平洋側気候の特色を持ちつつも、年間降水量は少なめで、冬の最低気温が低くなりやすいという特徴があります。特に冬の冷え込みと夏の猛暑の差が激しい「盆地特有の気候」を理解しておくことが重要です。
問5	答え 2 神戸市	兵庫県は近畿地方の西端に位置し、北は日本海、南は瀬戸内海（大阪湾を含む）に面している広大な県です。その県庁所在地である神戸市は、大阪湾に面した天然の良港を持つ港町として発展してきました。大阪府の県庁所在地は大阪市、京都府は京都市、奈良県は奈良市であり、それぞれ異なる特徴を持っています。
問6	答え 2 みかん	和歌山県は、黒潮の影響を受けた温暖な気候と、県土の多くを占める傾斜地を有効に活用しています。特に水はけが良く日光が当たりやすい斜面はみかんの栽培に最適であり、近畿地方において圧倒的な果実産出額を誇る要因となっています。
問7	答え 1 滋賀県と奈良県	近畿地方は2府5県（大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、奈良県、和歌山県、三重県）で構成されています。このうち、海に面していない内陸県は、県の中央に琵琶湖を抱える滋賀県と、歴史的な文化遺産が多く残る盆地を中心とした奈良県の2県のみです。京都府は日本海、三重県と和歌山県は太平洋や紀伊水道などに面しています。
問8	答え 1 中央部の山地が季節風を遮る壁となるため、日本海側と瀬戸内海側では降水量や気候の特色が大きく異なる。	兵庫県の中央に位置する中国山地は、冬の北西からの季節風を遮る役割を果たします。これにより、断面の北側に当たる日本海側では冬に雪が多く降り、南側の瀬戸内海側では年間を通じて温暖で雨が少ないという気候の差が生まれます。また、山地の間に点在する盆地では、その土地の気候を活かした独自の農業や文化が育まれてきました。
問9	答え 4 収穫したばかりの野菜を新鮮なうちに市場へ出荷できること	近郊農業は、大都市に近いという立地条件を最大限に活かした農業形態です。特に鮮度が重要視される野菜などは、収穫から消費者に届くまでの時間を短縮できることが、品質の維持や高い市場価値につながります。輸送費の削減も利点の一つですが、最大の目的は「新鮮な状態での出荷」にあります。
問10	答え 1 府内での移動が中心であるが、大阪府へ通勤・通学する人も約19万人にのぼるなど、隣接する大都市圏とも密接な関係にある。	京都府は、県庁所在地であり政令指定都市でもある京都市を抱えているため、府内での通勤・通学が大きな割合を占めます。一方で、大阪府とも経済的・交通的な結びつきが強く、19万人規模の非常に多くの人々が大阪府へ移動しているという特徴があります。これは滋賀県や奈良県などの周辺県と同様の傾向ですが、自県内での移動の多さが京都府の大きな特徴です。
問11	答え 3 伝統的な建築物と調和した美しい景観を保全し、観光資源としての価値を高めるため	電線の地中化は、視覚的に邪魔な構造物を排除することで、古い町並みの雰囲気を最大限に引き出す目的で行われます。これにより、観光客にとって魅力的な景観が創出され、地域経済の活性化にもつながります。また、景観の向上だけでなく、電柱がなくなることで歩行者の安全性が高まったり、地震などで電柱が倒壊するリスクを防いだりする防災上の利点も併せ持っています。
問12	答え 2 高速道路へのアクセスが向上することで、広域的な移動や物流が容易になり、周辺に住宅地や工場などの開発が進む。	交通網の整備は、人や物の流れを変え、土地利用に大きな影響を与えます。高速道路のインターチェンジが設置されると、遠方への移動や輸送の利便性が高まるため、周辺では住宅地の造成や物流拠点、工場の進出といった開発が活発化します。たつの市の事例においても、インターチェンジの開通や鉄道網の整備に合わせて、住宅地の拡大や郵便局などの公共施設の設置が進んでおり、地域の都市化が進展したことが読み取れます。
問13	答え 2 兵庫県	近畿地方において、県域が本州を南北に縦断するように広がり、日本海と瀬戸内海の両方に面しているのが兵庫県の特徴です。同様に日本海に面する京都府は、南側は他県と接しており瀬戸内海には面していません。また、大阪府は瀬戸内海（大阪湾）のみに面しており、奈良県は海に面していない内陸県です。